

# 国土交通省直轄工事における総合評価落札方式の改善方策

(研究期間：平成30年度)

社会資本マネジメント研究センター

社会資本マネジメント研究室 主任研究官 吉野 哲也 研究官 島田 浩樹 室長 中洲 啓太



(キーワード) 公共工事、入札・契約、総合評価落札方式、評価項目、技術提案

3.

生産性革命 (I-Construction) の推進、賢く使う

## 1. はじめに

国土交通省直轄工事における総合評価落札方式は、契約タイプを技術提案評価型(A型、S型)と施工能力評価型(I型、II型)に区分した運用を行っている。

国総研では、各地方整備局等の総合評価落札方式の実施状況を年次報告書に取りまとめるとともに、運用上の課題等を継続的に収集、分析し、改善方策の検討を行っている。本稿は、総合評価落札方式における技術評価の有効化、効率化を図る検討について報告する。

## 2. 技術提案評価型S型の改善方策

技術提案評価型(S型)は、技術的工夫の余地が大きい工事を対象に、施工上の特定の課題等に関して技術提案を求める契約タイプである。地方整備局等の契約工事のうち、特に規模の大きいWTO技術提案評価型(S型)の技術評価の実施状況を分析した結果、落札者と非落札者の技術評価点の得点率の差は経年的に縮小する傾向となっている(図-1)。

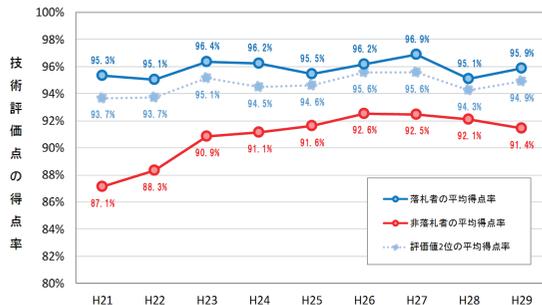


図-1 技術評価点の得点率の推移

国総研は、「総合評価方式の活用・改善等による品質確保に関する懇談会」の方針を踏まえ、競争参加者間の点差が付きにくい技術提案のうち、同様の提案が多く技術の有効性が認められるものは設計段階から発注者が標準案に反映し、評価項目としないことで新たな技術提案を促す技術評価の改善や、技術提

案を求めない施工能力評価型への移行により手順の効率化を図る検討を行っている。

## 3. 技術提案の評価結果に関する分析

「鋼橋上部」「プレストレスト・コンクリート(PC)」「橋梁下部」「トンネル」「道路改良」「築堤護岸」の6工種工事区分について、2013～2017年度の技術提案評価型(S型)を適

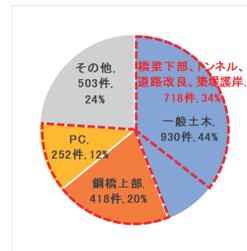


図-2 分析対象工事件数

	工事件数	延べ評価テーマ数
鋼橋上部	418	675
橋梁下部	345	468
プレストレスト・コンクリート	252	398
トンネル	214	454
道路改良	118	153
築堤・護岸	41	51
計	1,388	2,199

表-1 分類テーマ数

用した工事(図-2)の約2/3にあたる延べ2,199テーマ(表-1)の技術評価の実施状況を分析した結果、PC工事の場合、PC桁の耐久性、架設の精度向上等が点差の付きにくい技術評価項目として抽出された(図-3)。

## 4. 成果の活用

研究の成果は、有効性の高い技術の標準化検討や入札時の総合評価に反映され、直轄工事の入札契約において活用される。

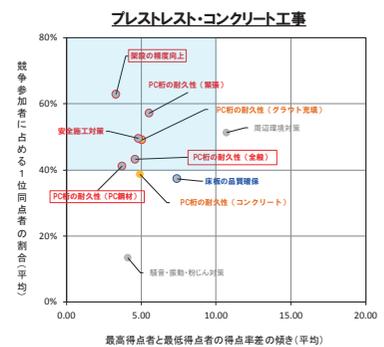


図-3 指標によるテーマの評価差

国総研では、今後も総合評価落札方式の実施状況のフォローアップを行い、更なる改善に資する研究を継続する予定である。

【参考：関連するWEBサイトのURL】

社会資本マネジメント研究室のHPを参照

<http://www.nilim.go.jp/lab/peg/index.htm>